

## 野尻抱影先生をお偲びして

小 森 幸 正\*

野尻抱影先生は去る10月30日満93才の天寿を全うされ、かねて予約されておられたオリオン霊園に旅立たれた。ご葬儀は去る11月12日世田谷の医王寺でしめやかにそして盛大に執り行われたが、会葬者中に歴代の東京天文台長を初め多くの天文学者や天文関係の方々の姿が多数見えたこと、さすがは「星のおじさん」に応しい告別式だったと感銘している。先生はお年の割にお丈夫な方でハリー彗星をもう一度見ることをお約束していたのに、昨年10月17日ご結婚記念日という日に、奥様が老衰で亡なられ、そのショックでご自分も脳血せんで倒れられ、一時は危なかったほどだったが、暫らくしてからよくなられ、今年になってからは、ベッドに起してもらって、執筆を続けられるようになった。今年の春ごろから私の家内を診て下さっている鍼の土田先生をご紹介申し上げたところ、その先生は同じ大学出であるし若くて明るい方なので、先生に非常にお気に入られ土田先生の来診数をふやすようお願いになっておられたことは、せめてもの先生へのご恩返しの一つになったと思っている。

先生は早稲田大学英文科を出られてすぐ山梨県の甲府中学に英語の先生になられ5年おられた。この間南アルプスの山々を踏破し、登山はベテランで日本山岳会にも関係をもっておられた。中学時代速足の前にはよく草鞋の穿き方や杖の突き方の指導を受けたものだ。朝日の昇る前、山々が赤く萌えるモルゲンロートなる言葉も先生の口からよくもれていた。先生は甲府中学では、大島健校長——北大のクラーク博士の薫陶を受けられた農政学者で、後に音韻学で文学博士となられた方（動物学者大島正満博士の父）——のお気に入り、甲府中学を辞めたいと申し出られた時、辞めるなら娘を貰えといわれて、次女の麗子さまと結婚をされたということである。

先生は英語の先生でありながら頭は角刈りで教壇以外には和服で通されたので、先生の洋服姿の写真は見当らない。先生が東京の麻布中学に転勤された翌年の大正2年、私は一年で英習字の手ほどきを受け以後5年間英語を教えて頂いた。当時の麻布中学は陸士、海兵への予備校のようにもいわれ江原素六校長以下こちこちのしかも年配の先生ばかりの中にあって最も若くそしてハンサムな先生は生徒の受けもよかったし、紳名のなかったのは先生だけだった。気が向くと英語の時間を棒に振ってギリシャ神話、グリムやアンデルセンの童話など実に面白くお話になりわれわれを夢の国へ誘って下さったものだった。

\* 日本アストロドーム（株）

た。しかし一般によくいわれているように、星の話ばかりされたということはなかった。先生は英文学を専攻されたというものの、決してハイカラでなく、厳正な心の持主で、礼儀の正しい方だった。文字でわかるように先生独自の書風——これは隷書から出ているという清の何子貞に傾倒——を創られ、本屋泣かせの字といわれるがしかし馴れると却って下手な字より読み易い字で一生涯通された。私はこの字よりも先生の絵に惹かれた。私が3年のとき先生が受持ちとなられたこともあってか先生とお親しくなり、度々下さったペン画入りのハガキ5枚は私のところへ来ている先生のお手紙とハガキ350通に対しひじょうに少く貴重なものだし、おそらく他の方々へはお画きになっていない。先生は画家になられるつもりだったこともおっしゃっておられたし、亡なられたみか子さんが油絵を修業中夭折されたの残念がられていた。先生は先生独自のロマンティズムで説かれた著作を通じて、日本の今日の天文学者やアマチュア天文家の中に文学的な心の目を拓かれた功績は大きい、もし先生が絵の方でご精進になられたら、あるいはご令弟の大佛次郎さんのように文化勲章を貰われていたか、人間国宝になられていたかも知れない。先生とは大正七年から私の商船学校への入学、関東大震災、そして病氣等で暫くご無沙汰申し上げたが、大正14年7月愛宕山のJOAKへ入ってから、先生と再び接する機会が急増した。先生も大正8年研究社へ入社され、時間的余裕もおおきくなったので、ラジオの趣味講演にしばしばご出演願って、私が甲府放送局に転出してからも、甲府まで度々お運びいただいでご放送願ったことがあった。昭和3年に先生の処女作「星座巡礼」の印税が入ったので、天体望遠鏡を買ってくれとお頼みを受け、当時の日本光学の三田豊岡町の古川久工場長にお願いして作っていただいた10cm屈折式経緯台はロング・トムと命名され桜新町のお宅のお庭で長い間活躍した。この望遠鏡はカール・ツァイスのカatalogを参考にして造られたこの種のものではわが国で最初のそして最後のものかも知れない。

先生は、俳句がお上手であった。この心が文章の上につながっていたし、また仏教、美術の魅力の追求をつづけられ傍ら芝居の方もなかなか通だった。岡山の石田五郎先生もその方で先生とは特別なおつき合いがあったようだ。昭和10年頃故山根平造さんが世話をされた青山天文同好会にもご出席を願っていたが、今その会員中で現役で富田弘一郎氏が活躍しておられる。建築装飾のモ

